



まだまだ雑草が圃場に残ってる・・・そんなときは

中後期除草剤 を使って、目指せ「雑草ゼロ圃場」へ!

<除草剤散布のポイント>

先月号のおさらいです

- ① 剤の散布形態、回数を剤毎に把握する!
- ② 圃場内に水を必要とする粒・ジャンボ剤は3~5cmを目安にしっかりとめる!
- ③ 散布後は薬効が吸着されるまで水を動かさない!



↓農協で取り扱っている中後期剤ラインナップです。

粒・ジャンボ剤	10aあたりの使用量	対象雑草	田水面の状態	使用回数
クリンチャー1キロ粒剤	1~1.5kg	ノビエ、イネ科雑草	湛水	2回以内
クリンチャージャンボ剤	20~30パック(1~1.5kg)	ノビエ、イネ科雑草	湛水	2回以内
バサグラン3キロ粒剤	3~4kg	広葉雑草	落水	1回
レプラス1キロ粒剤	1kg	ノビエ、広葉雑草	湛水	1回
レプラスジャンボ剤	10パック(400g)	ノビエ、広葉雑草	湛水	1回

液剤	10aあたりの使用量(希釈水量)	対象雑草	田水面の状態	使用回数
バサグラン液剤	500ml(70~100L)	広葉雑草	落水	2回以内
クリンチャーバスME	1000ml(70~100L)	イネ科、広葉雑草		
ワイドアタックSC	100ml(100L)	ノビエ、広葉雑草		

梅雨明けに向けて、**中干し**についてもおさらい!

しっかり中干しをすることで倒伏軽減や収穫時のコンバインの移動がスムーズになるなど栽培管理で重要な作業です。

竹田市は6月下旬~7月にかけて中干し期間になります。
(目安:田植後40~50日程度 *品種・田植時期によって多少異なります)

<中干し中のポイント>

- ① 実施期間は7~10日間、田面に足跡が付かなくなる程度
- ② 漏水田や用水が十分でない圃場はやや軽めに行う

